子どもも　大人も　おおはしゃぎ
みにみに運動会開催

10月11日、育児サークルの一環として幼児種目のみの「第3回ぴよぴよクラブみにみに運動会」が改善センター和室で開催されました。

当日は乳幼児やその保護者など46名が参加して、8種目の競技をおこないました。

競技種目は、お母さんが子どもをおぶって競走する「おんぶでGO！」やみんなで踊る「きよしのズンドコ節」、二人の保護者が子どもをシーツで包んで運ぶ「走れ走れ救急車」など楽しい競技が続き、子どものかわいいしぐさに笑いが絶えない運動会でした。

今回初めて参加したという保護者は「自宅で面倒を見ていると子どもなかなか他の子と遊ぶ機会が少ないので、協調性が生まれにくい。こういった催し物をおこなってもらうととても助かります。」と話していました。

最後はみんなではとぽっぽ体操をして終了しました。

▶子どもを落とさないでね！「走れ走れ救急車」の模様

来年の梅のために！
梅の剪定講習会開催

11月１日、町内の梅園で剪定（せんてい）講習会が開催されました。

梅の剪定講習会は、今回が11回目の開催。今年は２年ぶりに来町された、和歌山県の梅栽培農家小山利昭さんが指導にあたりました。

指導がおこなわれた中津川校区の市山正弘さん所有の梅園では、午前中に約50名が参加。

今回は３班に分かれて、実際にどの枝を落とすか決めて印を付け小山さんがその場所が適切かどうか診断する方法でおこなわれました。

小山さんは「コブを残さないように、落とす枝はきちんと根元から切ってください。」などと話され、剪定の実技指導をおこないました。会場からは「どの角度で枝を伸ばしたらよいのか？」など質問もあがっていました。

小山さんは「梅栽培で一番楽しいのは剪定です。剪定がうまくいけば、薬剤散布もしやすくいい梅が必ずなります。」と助言されていました。

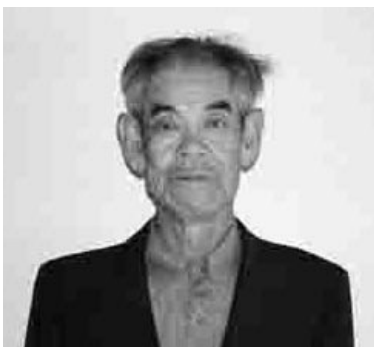
▶小山さん（中央）の熱心指導に参加者も聴き入っています。

古里信義さん（別野）
勲五等瑞宝章を受章

秋の叙勲が発表され、町内の古里信義さん（写真）が勲五等瑞宝章を受章されました。

古里さんは、中津川村消防団に、昭和26年2月に入団。その後昭和45年12月から20年間、町消防団長として消火や防災活動、消防施設の整備強化に尽力されました。

今回の受章にあたり古里さんは「41年間消防団の勤めができたのも、団員並びに町民の皆さんのおかげだと喜んでいます。消防は大事な仕事なので後輩の皆さんもがんばってほしい。」と話されました。



◀今回受賞された古里信義さん

「おかえり」と言ってくれます。その一言でなんだかほっとします。きっと同じようなことを、私の家族も感じていると思います。

「家族」とは私にとってかけがえのない存在であり、私も「家族」にとってかけがえのない存在なのだと思いました。

いろいろな事件が起こっている世の中ですが、「家族」とは何か自分にとって、また自分は「家族」にとってどういう存在なのかというのを少し考えてみてください。そうすることで、「家族」の大切さや自分の大切さが分かると思います。

お父さん

中津川小四年　塩向　歩さん

お父さんが体重計に乗った。ふだんは、ため息をつくはずのお父さんの顔は、いつもと違って体重計に乗ったとたんパァーと明るくなった。どうやら少し体重が増えたらしい。お父さんはうれしそうだった。